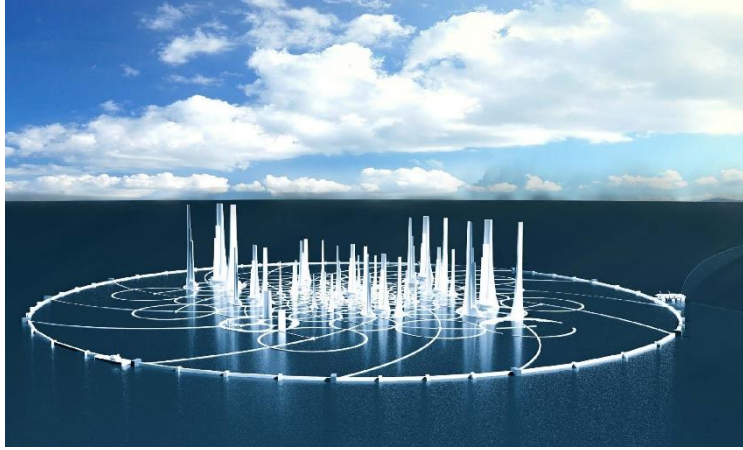




課題設計のプレゼンテーション風景



波が作用するハイブリッドケーソン式防波堤のイメージ図



DAS 毎日デザイン賞「金の卵賞」黄起範作



圧縮空気と波による揚圧力が作用する横棧橋のイメージ図



桜門建築会
海洋建築系研究懇談会
昇格教員講演

海洋建築工学科 教授
佐藤 信治 先生



海洋建築工学科 教授
恵藤 浩朗 先生

海洋建築デザインの系譜と継承

これまでの海洋建築のデザイン教育を振り返り、どのような歴史と特徴があったのかを見ていきたいと思えます。特に卒業設計においては、合計12回にもおよぶ日本一の成果や、様々な学外コンペでの入選などについてその秘訣(?)について振り返って見たいと思えます。また、課題設計における水辺空間を採り入れた建築のあり方が上記卒業設計などにどのように影響を与えてきたかを考えてみたいと思えます。

海洋構造物に作用する波浪荷重特性や
構造合理化に関する様々な検討

企業との共同研究で進めている数値解析を用いた海洋構造物の波浪荷重特性と構造合理化について紹介します。具体的には、ハイブリッドケーソン防波堤のフーチング形状がもたらす波圧低減効果や断面諸元等の設計合理化に向けた検証、横棧橋床版への圧縮空気と波による揚圧力の評価などについてお話しします。

6月30日(火) 17時00分~18時30分

開催方法:ハイブリッド開催

(対面) 日本大学理工学部船橋キャンパス 14号館2階1421教室

(WEB) ZOOM (右QRコード or ID・パスコードよりアクセス)

連絡担当:恵藤浩朗(eto.hiroaki@nihon-u.ac.jp)



ID: 978 4372 4177
パスコード: 760988